

科目名	社会的養護内容		担当教員	加藤次郎		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での養育が困難なため、親から分離して施設で生活せざるを得ない子どもを理解し、自分なりの考えを表明できる。 ・児童福祉施設という生活の場の特殊性を理解し説明できる。 ・施設で生活していく子どもの人間的成長の支援力を身につけ試行できる。 ・家庭の養育力が回復していく援助力を身につけ試行できる。 ・卒園後の社会生活の援助力を身につけ試行できる。 <p>■授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次に、さまざまな社会的養護の場で行ってきた実習体験を踏まえ、学生本人が経験したことがない「特殊な生活の場」である児童福祉施設での養育の変則性と可能性を具体的な事例に即して学んでいく。 ・2年次8～9月に行われる施設実習を念頭において授業を進めていく。 <p>■授業計画</p> <p>第1回 「社会的養護内容」を学ぶにあたって</p> <p>第2回 乳児院で出会った子どもとその援助</p> <p>第3回 児童養護施設で出会った子どもとその援助</p> <p>第4回 児童相談所（一時保護所）で出会った子どもとその援助</p> <p>第5回 児童自立支援施設で出会った子どもとその援助</p> <p>第6回 障害児施設で出会った子どもとその援助</p> <p>第7回 傷ついた心の子どもたちとその援助</p> <p>第8回 親と子の関わりとその援助</p> <p>第9回 子どもにとっての家庭養護と施設養護</p> <p>第10回 社会へ巣立つ子どもたちへの援助</p> <p>第11回 ノーマライゼーションの実現に向けて</p> <p>第12回 ひとりの人間として生活していくために</p> <p>第13回 施設養護を支える職員の資質と援助力とは</p> <p>第14回 施設養護の課題と展望</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の実習体験と、授業で取り上げた内容を照らし合わせ、次回の授業で、疑問、質問を提起し、全体の理解を深める。 ・実習で体験した施設の人間形成上の課題について考察しておく。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学習 — 25% ・授業へ取り組む態度（課題への取り組みや発言内容） — 25% ・毎回のレポート及び試験 — 50% 						
参考文献	授業中に適宜示す。	特記事項	特になし。			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育の内容・方法に関する科目			